第73回大分県高等学校総合体育大会

15．弓道競技実施要項

1　主　催　大分県高等学校体育連盟

2　期　日

期　日	時　間	適　用
5月31日（土）	8：30 ～ 9：20 ～ 9：30 9：40 ～ 15：40 15：50 ～	監督会議 開会式 団体1次予選（16位タイまですべて通過） 終了式
6月1日（日）	8：30 ～ 8：50 ～ 9：00 9：00 ～ 13：30 13：30 ～ 17：30 17：40 ～	監督会議 開始式 団体2次予選（上位7校が通過） 個人戦（九州・全国総体予選を兼ねる） 終了式　（個人表彰式）
6月2日（月）	8：30 ～ 8：50 ～ 9：00 9：00 ～ 15：00 15：00 ～	監督会議 開始式 団体決勝リーグ戦 （九州・全国総体予選を兼ねる） 閉会式（団体表彰式）

3　場　所　大洲総合運動公園弓道場（大分市青葉町）　TEL　097-551-2110
※監督会議は同会場の射場で行う。

4　競技規則　全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び（公財）全日本弓道連盟競技規則による。

5　競技方法　（1）種別は、①近的・立射　②男女別　③団体競技・個人競技　とする。

（2）団体一次予選について（第1日目）

ア．女子→男子の順に、4矢2立（各8射・チーム合計40射）を行う。

イ．2チーム同時に行射（チームは順立）する。

ウ．ベスト16チーム（ 拡大解釈＝16位のチームが複数ある場合すべて ）を一次予選通過、それより下位チームを失格とする。

エ．1チームの行射時間は7分以内とし、それ以降離れた矢は失格とする。

（　行射時間＝「始め」の合図から最後の射手の「離れ」まで　）なお、弦切れの場合は跪坐して待ち、以後の射手は替弦を待たずに順次行射する。一巡したら順立に戻る。

オ．制限時間はブザーにより、次の要領で合図する。　《30秒前（6分30秒）・・・短く　　終了（7分）・・・長く》

（3）団体二次予選について（第2日目）

ア．第一日目の予選通過チームが、女子→男子の順に4矢2立（計40射）を行う。

イ．2チーム同時に行射（チームは順立）する。

ウ．第1・2日の総的中数によるベスト7のチームを予選通過、それより下位チームを失格とする。
（同中のため7チームを超えるときは、各自1本ずつの競射により7チームにしぼる）

エ．1チームの行射制限時間は7分以内とする。

（4）個人戦について（第2日目）

ア．全国高校総体・九州大会の予選を兼ねる。（10人立ち）

イ．予選は、女子→男子の順に各自4射を行い、3中以上を準決勝進出とする。

ウ．準決勝も、女子→男子の順に各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。

エ．決勝は、各自1本による射詰め競射を行い、6位まで決定する。1位は射詰め、他は遠近法により決定する。射詰競射5本目から8寸星的を使用する。

オ．順立ちとする。

カ．替弦所持者は、射場後方の、速やかに対応できる所に待機する。

キ．的中に異議がある時は、選手が直接射場審判に確認できる。

（5）決勝リーグについて（第3日目）

ア．全国高校総体・九州大会の予選を兼ねる。

イ．ベスト7のチームを予選成績（順位）により、A～Gに位置付け、リーグ戦を行う。
予選成績が同中の場合は、抽選により記号を割り当てる。
A（1位）・B（2位）・C（3位）・D（4位）・E（5位）・F（6位）・G（7位）

ウ．4矢1立（チーム20射）の対抗戦。同中の場合は、各自1本の競射により勝敗を決定する。

エ．対抗するチームが同時に行射（チームは順立）する。射終わったら本座の椅子に戻り、判定の発声の後に退場する。

オ. 女子→男子の順に3試合ずつ交互に対抗戦を行う。

カ. 1チームの行射制限時間は7分以内とする。

キ. 試合順序は次の通りである。

	A	B	C	D	E	F	G
A		20	12	1	8	16	4
B			6	17	2	10	14
C				9	15	3	18
D					5	13	21
E						19	11
F							7
G							

前・後	前・後	前・後
1) A:D	8) E:A	15) C:E
2) B:E	9) D:C	16) A:F
3) C:F	10) F:B	17) B:D
4) G:A	11) E:G	18) G:C
5) E:D	12) C:A	19) F:E
6) B:C	13) D:F	20) A:B
7) F:G	14) G:B	21) D:G

ク. リーグ戦の順位は次の手順で決定する。

Ⅰ　勝率による。(勝数の多い方を上位、負け数の多い方を下位とする。)

Ⅱ　勝率が同率の場合、リーグ戦全試合の総的中数による。

Ⅲ　Ⅱで同中の場合、各自1本ずつの競射による。

6　参加資格　「 第71回大分県高等学校総合体育大会実施要項 」の参加資格に準ずる。

7　参加制限　(1) 団体戦

ア. 1校男女とも1チームとする。(選手3名以上を団体扱いとする。)

イ. チーム編成は、監督1名・選手3名～5名、補欠2名の計4～8名とする。

ウ. 選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め、1・2日目については、交代した選手は以後補欠とみなす。1回の交代で、補欠2名を同時に交代することができる。ただし、3日目のリーグ戦は、登録選手と登録補欠との交代のみとする。

エ. 団体戦の選手交代規定

Ⅰ　申込書に記載した、登録選手以外は認めない。

Ⅱ　交代は1日2回までできる。ただし、招集の30分前までに届け出ること。

Ⅲ　登録補欠1名の場合は、1回につき1名。登録補欠2名の場合は2名以内とする(2名同時に交代できる)。交代した選手の再出場は認める。

Ⅳ　選手の交代によりゼッケンを替えてはならない。

Ⅴ　届け出は所定の用紙(本部準備)を用い、監督が提出すること。

Ⅵ　立順を変更することは認めない。ただし、2度の交代によって結果的に立順が変わることはやむを得ないものとする。

Ⅶ (ⅰ) 1日目、2日目ともに、終了後に選手の交代は一度リセットされる(参加申し込み登録順に戻る)。

(ⅱ) 3日目のリーグ戦では、全試合、試合ごとにリセットされるので、登録選手と登録補欠選手との交代のみ認める(立順が入れ替わることはない)。

Ⅷ　決勝進出を決定する同中競射での選手の交代は認めない(予選最終時での立順となる)。

(2) 個人戦

ア. 個人戦出場資格は、支部予選において男子8射5中、女子8射4中以上的中した者。

イ. 個人競技においては、選手の変更・交代は認めない。

8　参加申込　高体連のホームページより申込書をダウンロードし、2部作成する。

大分県高体連URL：https://www.oita-kotairen.jp/index.html

1部を学校一括で高体連事務局へ提出・・・5/8(木)必着

1部を弓道競技専門委員長へ提出・・・5/31(土)大会当日朝提出

なお、承認を得た申込書の電子データは、期限内に下記にメールでも送信すること。

(ファイル名：競技名/校名/監督名　)

メールｱﾄﾞﾚｽ　shibata-yumiko@oen.ed.jp (ﾃﾞｰﾀ受信期間：5月8日(木)15：00必着)

大分県立情報科学高等学校内　柴田由美子　※庁内連絡でも可。

9　出場権の獲得　(1) 個人戦の1・2位に全国大会の、1～5位に九州大会の出場権を与える。

(2) 団体戦の1位校に全国大会の、1・2位校に九州大会の出場権を与える。

※令和7年度全国大会：鳥取県米子市　九州大会：沖縄県那覇市

10　組合抽選　第1回専門委員会　令和　7 年　5 月　8 日　(木)　10 時～　大分商業高等学校(予定)

11　連絡事項　(1) 服装について

ア. 弓道着又はユニフォーム(肩線の無いシャツ、校服のズボン・スカート、白靴下)とする。

イ. 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。

ウ. アンダーシャツは、白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは不可とする。

エ. 鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名・番号に限り入れてもよいが、

場所は鉢巻きの端とする。

オ. 胸当ては無地とし、校名・校章・氏名その他を入れてはならない。男子の胸当ての使用は認めないが、道着の下に装着することまでは咎めない。

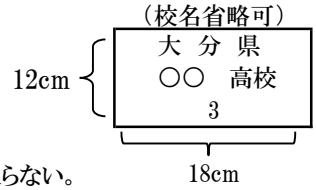
カ. サポーターの使用は肘のみ認める。色は、白・黒・紺・ベージュで無地のみとする。

キ. リボン・ピアス等の装身具類は着用してはならない。

ク. 頭髪をはらうことによる事故防止のため、髪が肩にかかる場合は結ぶ。髪が右のほほにかかる場合は耳にかけさせる。ヘアピンを使用する場合は、華美ではなく数量も最小限にとどめる。

ケ. ゼッケンは、右腰前につける。ただし、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。選手の交代により、ゼッケンを付け替えてはならない。布地は白で、県名と学校名は黒、番号は男子が黒、女子は赤で記入する。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。

コ. 腕や手などへの書き込み、道着の袖まくり、足袋裏への水吹きは違反となる。



（2）弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。

（3）呼び出しに絶えず気を配り、点検に遅れる等して、第一控「起立」の号令に間に合わなかった者は失格である。

（4）選手は大会競技規則を熟知し、違反のないように競技に臨むこと。

（5）事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された区域には立ち入らない。応援の者も競技運営に整然とした態度で臨む等協力すること。

（6）選手宣誓は、前年度男子優勝校の杵築高校とする。

（7）立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

（8）当日の的前練習はできない。